

2014年12月1日
(2015年1月27日改定)

報道関係者各位

台場怪奇学校



News Release

「台場怪奇学校」の封印されていた音楽室がついに解禁！

冬季限定お化け屋敷『閉ざされた音楽室』開催決定！！

お台場のお化け屋敷「台場怪奇学校」では、2014年12月13日(土)～2015年3月15日(日)の間、期間限定バージョン『閉ざされた音楽室』を開催いたします(好評につき、期間延長が決定しました)。



今回のお化け屋敷は、長い間ずっと閉鎖・放置されていた「音楽室」を舞台とした参加型アトラクションです。参加者は、死んでしまった少女と先生を供養するため、ライトを手に、呪われた学校の廃墟へと足を踏み入れることとなります……。

夏のイメージが強いお化け屋敷ですが、今冬も台場怪奇学校でしか体験することのできない“恐怖のエンターテインメント”が登場します…！

■開催概要

◎開催期間：2014年12月13日(土)～2015年~~2月15日(日)~~ 3月15日(日) 期間延長決定！

※1月15日はデックス東京ビーチ休館のため、ご入場いただけません。

※期間は予告無く変更となる場合があります。

◎開催時間：11：00～受付終了20：45

※12月23日(火祝)～1月4日(日)の期間は10：00～

※混雑やメンテナンス等、受付を停止・終了させていただく場合があります。

◎開催場所：お化け屋敷「台場怪奇学校」

(東京都港区台場1-6-1 デックス東京ビーチシーサイドモール 4F 台場一丁目商店街内)

◎料金：一律800円(小学生は高校生以上の同伴が必要)

◎入場規定：小学生未満の方はご入場いただけません。

※安全・演出上の観点から、ご入場いただけない場合があります。

◎企画・制作：台場怪奇学校、幽霊ゾンビ、いわたか

◎監修：霊媒師スギヒサオ

■ストーリー

小学六年生の詩音はピアノが大好きな女の子でした。

両親が離婚し父子家庭で育った詩音にとって、ピアノは寂しさを忘れられる大切なものだったのです。

「わたし、ピアニストになりたい！」

そう言って放課後は毎日、音楽室で浩二先生からピアノを教わっていました。浩二先生は自身の娘を事故で亡くしており、詩音を我が子のように可愛く思っていたそうです。

しかし、ある日突然、詩音は左手を失ってしまいます。

「左手が無いんじゃ、もうピアニストにはなれない…」

夢への道が閉ざされたと思った詩音は、絶望して首吊り自殺をしてしまいます。あの大好きなピアノがあった音楽室で…。

その翌日のこと。

音楽室で後を追うように首吊り自殺をしている浩二先生の姿が発見されました。

それからずっと、その音楽室は閉ざされたままです。

ただ、校舎を歩いていると、今でもたまにピアノの音が聴こえてくるそうです。

この音楽室で命を落とした2人を、どうか供養してきてください…。

■ポイント1：お化けにより演出とミッションが変化！

今回のお化け屋敷では、“少女の霊”と“先生の霊”が登場します。参加者は「どちらかのお化けを供養しに行くか」選ぶことができ、その選択によってお化け屋敷内の演出や行っていただくミッションの内容が変化します。

【1】少女（詩音）の霊

ピアニストを目指し、放課後に練習をしていた詩音。

左手を失ってしまい夢が閉ざされてしまったことによる絶望から詩音の魂を救うため、音楽室のピアノの前に「手のレプリカ」を供えてきていただきます。

詩音の左手が切断されてしまったのは事故とされていますが……。



【2】音楽の先生（浩二）の霊

詩音に熱心にピアノを教えていた浩二先生。

ピアノが大好きだった浩二先生に成仏してもらうため、音楽室にあるピアノを弾いてきていただきます。

浩二先生は詩音の後を追うように音楽室で自殺したと言われていますが……。



また、参加者はお化け屋敷の中に隠されたパスワードを見つけ、特設サイトで入力することで、「秘密の映像」を観ることができます。この映像を観ることで、ストーリーに隠された謎や秘密、物語の真相を知ることができます。

■ポイント2：独自の演出技術「SAITO∞REAL方式」を導入！

暗闇・使命・生音・変化等の要素によって展開される独自の演出技術「SAITO∞REAL方式」によって、心霊体験に似た体験をすることができます。

■幽霊ゾンビとは

平野幽霊と齊藤ゾンビにより結成されたホラープランナーチーム。オバケランドの創設を目指し、お化け屋敷の企画を中心に活動。ホラーを通じて命の尊厳を訴えており、収益の一部を社団法人いのちの電話に寄付している。

監修したイベントの累積入場者数は97万人を突破。(2014年11月現在)

2006年に「台場怪奇学校」(東京都)、2009年に「浜松怪奇学校」(静岡県)を開校。2010年より、台湾台北市の「東京恐怖学園」(主催：大國翼星有限公司)に監修者として参加し、これまでに合計4度の海外進出を果たした。

著書「快樂怪奇譚」(2009年、実業之日本社)、実録「お化け屋敷の作り方」(2011年、アールズ出版)。

<幽霊ゾンビのブログ> <http://blog.obakeland.net/>

■いわたかとは

ローラーコースターからお化け屋敷、シューティングライドに子供向けアトラクションに至るまで、様々なアトラクションを愛する“遊園地マニア”として活動。ネット・TV等のメディアに関わり影響を与えている。

2008年より自らもアトラクションの企画・製作を開始。これまでにお化け屋敷やウォークスルーアトラクション、巡回型アトラクション、謎解きアトラクションなどのイベントを開催した。

『おもしろいことを全力で。』をモットーに、企画・製作だけでなく、演劇、アニソンDJなど幅広く様々なことに挑戦し、活動の場を拡げている。2012年度冬季限定バージョン「願いの叶う場所」で幽霊ゾンビと初タッグを組み、今回再び冬季限定バージョンへの参加が決定した。

<ハイパーアミューズメント> <http://hyperamusement.net/>

■霊媒師スギヒサオとは

兵庫県出身。「台場怪奇学校」専属霊媒師。

何かの研究のためによく岐阜県に行っている。

ほとんど怪奇学校にはいないが、時おり供養指導のため現れる。

素性は明らかになっていない。

■お問い合わせ先(メディア・取材等の方)

資料・画像をご希望の場合、下記の連絡先までご連絡ください。

取材・撮影のご依頼は企画書をご用意ください。

電話：03-3599-1664

Mail：daibakaiki+pr@gmail.com

■お客様用情報ページ

「台場怪奇学校」公式サイト：<http://obakeland.net/>

「閉ざされた音楽室」特設サイト：<http://obakeland.net/2014w/>

※本情報は、予告無く変更となる可能性がございます。